

【技術名】長野県育成の多収品種

**水稲品種「ふくおこし」は、中生早熟期で耐倒伏性に優れ、  
いもち病に強い、多収品種です。**

【技術の要約】

水稲品種「ふくおこし」は中生の早熟期で、耐倒伏性に優れ、いもち病に強い多収品種です。玄米重はやや大きく、炊飯米の食味は「並」で、食用や米粉用等の新規需要米として利用できます。

【技術の内容】

- 1 「ふくおこし」は、長野県農業試験場で育成した品種で、中生早（ひとめぼれ並）熟期、耐倒伏性に優れ、いもち病に強い多収品種です。
- 2 玄米重はやや大きく、炊飯米の食味は、「並」で食用として利用できます。
- 3 耐倒伏性に優れるため、直播栽培が可能です。

「ふくおこし」の諸特性

品種名	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	精玄米重 (kg/a)	同左 コシヒカリ 対比(%)	千粒重 (g)	食味	いもち 病
ふくおこし	8月3日	9月8日	82	440	74.0	112	23.4	中上	極強
ひとめぼれ	8月2日	9月11日	83	486	67.5	102	22.7	上下	強
コシヒカリ	8月6日	9月16日	95	443	66.0	100	21.9	上中	やや弱



「ふくおこし」の草姿



「ふくおこし」の玄米

【留意事項】

- 1 この技術は、平成22年度普及技術、27年度試行技術です。
- 2 多肥栽培ではいもち病が発生する場合がありますので防除が必要です。
- 3 耐冷性がやや劣るので、標高700m以下の地域に作付けします。
- 4 特定の成分を含んだ除草剤で薬害が発生します。除草剤の選択にあたっては、農作物病害虫・雑草防除基準を参照してください。
- 5 「ふくおこし」は、飼料用米にも利用でき、多肥栽培および立毛乾燥技術を組み合わせることにより、低コスト栽培が可能です。